

寄付文化醸成による共助の資金循環をつくる助成事業

認定 NPO 法人しみん基金・こうべ

1, 事業の目的

2024 年年頭の能登半島地震を受け、また阪神・淡路大震災 30 年でもあるため、急遽助成事業を大幅に変更し、事業助成ではなく、事前復興に資する提案・提言の公募・顕彰の形で下記 5 つの中間支援事業を行い、市民活動団体への財政的支援や組織力強化を行い、市民活動団体を育成する。

2, 活動内容

顕彰事業に対する相談対応 2 件

情報提供・ネットワーク

- ・ 助成事業を大幅に変更したため、例年の広報に加え県社協や市社協の交流会等イベントに出向き顕彰事業の広報活動を実施
- ・ HP、SNS、メルマガ発行などにより関係各団体からよせられた情報等の発信、
助成先団体への訪問等による活動紹介(4 団体)
- ・ ニュースレターの発行 年 3 回
- ・ 助成事業成果報告会での市民活動団体間交流
成果報告会・入賞提案贈呈式(兵庫県中央労働センター)
12 月 10 日(火)
3 月 18 日に入賞提案・提言のブラッシュアップワークを予定
- ・ グーグル広告、ヤフーネット募金を使った情報発信
グーグル広告 8321 回表示、クリック数 748 回、クリック率 8.99%(4/1~1/15 の 9 ヶ月間半人材育成)
- ・ アイデア公募による提案・提言力、成果発表会時実施による、
プレゼンテーション力の育成・向上
書類作成指導
- ・ アイデア申請、事業成果報告書などの作成助言
その他
- ・ 寄付者等へのお礼状作成・発送

成果報告会・入賞提案贈呈式



ニュースレター



3, 成果と課題

能登半島地震時における災害ボランティアを管理しようとする行政の対応や、これまで実施してきた当助成事業についての課題意識から大幅に事業を変更し、試行錯誤状態。来年度初頭にかけて事業はまだ継続中である。

4, 今後の展望

3 月以降も来年度前半にかけて入賞提案のブラッシュアップワークや冊子化を実施していくが、その先の展開はまだ検討段階である。